地域とともに育む、子どもたちの未来
コープの店舗で「まち探検・社会科見学」を実施しました







とちぎコープの店舗では毎年、近隣の小学校からの社会科見学や、職員が学校へ出向く出前授業を行っています。

今年6月には、壬生町立壬生東小学校の2年生が「まち探検」としてコープおもちゃのまち店を訪問しました。店内やバックヤードを店長が案内すると、普段は見ることができない野菜・魚・肉の加工場や大きな冷凍庫に子どもたちは興味津々。

肉の加工場では、袋に入ったずっしりと重い大きな塊肉を実際に手で持ってもらい「これはお肉のどこの部位かな?」と問いかけました。普段スライスされたお肉を見慣れている子どもたちは、少し不思議そうな表情。「例えば鶏肉なら一番人気があるのはモモ肉ですが、命をいただくのですからどの部位も無駄にはできません。他の部位もおいしい食べ方をお知らせするなど、全部売り切る工夫をしています」という店長の言葉に、真剣な表情でうなずく姿が見られました。

また、国産と輸入の柑橘を名前を伏せて味わう「味当て体験」も実施。「果物には一番おいしい『旬』があります。お店の職員も試食して味を確かめているんですよ」と伝え、旬の恵みを知る楽しさを実感してもらいました。今回は保護者の方々も同行されていたため、環境に配慮してエネルギー効率の高い「自然冷媒の冷蔵ショーケース」を導入していることも解説し、コープの環境問題への取り組みについても紹介しました。

子どもたちからは「一日にお客さんは何人来ますか」「お店には何種類の商品がありますか」「一番人気の商品はなんですか」などたくさんの質問が寄せられ、熱心にメモを取る姿が印象的でした。

後日、子どもたちが作った大きな報告書が届き、その中には「お父さん、お母さんが子どもの頃からお店があったことを知って驚いた」という感想も。店長は「次の30年後も親子で思い出を語り合えるような、地域に寄り添うお店を目指していきたい」と語ります。この秋も各店舗で同様の体験学習を行っており、とちぎコープはこれからも、地域とともに子どもたちの成長を応援していきます。